

報告日 令和7年11月17日
報告回次 3回目

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	岩手県庁			代表者名	達増拓也
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	ふるさと振興部科学・情報政策室	連絡先電話番号	019-629-5247
担当者役職	主任	担当者氏名	佐々木叡	連絡先E-mail	
住所	020-8570 岩手県盛岡市内丸10-1				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	連絡先部署
担当者氏名	連絡先電話番号

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（複数団体）	事業名	生成AI利活用
概要	県内市町村を含めた行政職員に対する「生成AI利活用研修」の実施により、行政業務への利活用ケースを学習・体験することで生成AIの活用による業務効率化の底上げをしようとするもの。		
支援を求める分野	人材（DXに関する知識習得・研修・育成） 生成AI活用		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年11月10日	支援・助言(実地)	13時00分	16時30分	
				活動時間（分）	210
派遣場所	会場名	まなび学園（生涯学園都市会館）		最寄駅	花巻駅
	所在地	岩手県花巻市花城町9番30号		最寄駅からの交通手段	自動車（申請者にて盛岡市から送迎も可能=機外参照）

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	碓井 洋寿
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったです等詳細に）	本派遣の目的である「自治体職員の生成AI利活用のための素養の底上げ（研修実施）」の達成に当たって、今回実際に研修を開催していただいた。研修に当たっては、「生成AIを利用したことがない」「使い方が分からない」参加者を対象として、そもそも生成AIとは？業務に同利用できるか？という観点で、目的達成のための内容としていただくとともに、各自治体において生成AIサービスを導入していくためのスタートのアプローチについても御経験をもとに講演いただき、各自治体の生成AIの事業化～進め方～組織での生成AI導入のヒントをいただいた（第2回派遣と同じ内容を実施いただいたため同派遣の報告から再掲）。依頼した内容のほか、事務局（情シス）としても生成AIのほかMS365利用環境などについても情報交換を行うことができ、派遣内容以上に得るものがある派遣としていただいた。
アドバイザーへの要望事項	御対応いただきまして誠にありがとうございました。次年度以降、今回の内容を発展して派遣を依頼することも検討しております。将来またアドバイザーとして依頼する際は改めてお力を貸しいただければ幸いです。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】		合計人数	48人
	属性	自治体職員	住民	企業・団体
		人数	48	その他(学生など)

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	人口減少の進行により、県・市町村ともに行政を担う人材の確保が一層困難となる中、より複雑化・多様化する行政需要に対応し、県民・市町村民に持続可能で安定的な行政サービスを提供していく必要がある。本課題の活用可能なツールとして「生成AI」の利用による行政業務の効率化・自動化が考えられるところだが、一方で、生成AIの利用状況には差があり、組織間の格差だけでなく、職員間の格差も大きく存在している。
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	県内自治体職員を対象とした「生成AI利活用研修」を実施(支援)していただき、「県内の行政職員が生成AIを行政業務に利用することで業務が効率化・簡略化できることを理解し、日々の業務の中で生成AIを活用できる下地が形成されること」を目指す。

<p>アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)</p>	<p>下記事項について、アドバイザーによる研修会を実施いただいた。</p> <p>(1) 生成AI基礎知識と最新動向の解説 生成AIの基礎知識、進化の歴史、主要な用語やサービス、行政現場での活用意義について、参加者に向けて体系的に解説いただいた。「生成AIの基礎知識」「主要用語と技術解説」「主要サービスとセキュリティ」「生成AIの進化と社会的影響」についてとりわけ研修会にて触れていただいた。</p> <p>(2) 講師の所属組織における生成AI導入と普及施策 講師の所属組織での生成AI導入の経緯、職員向け勉強会やマガジン発行、エバンジェリスト制度など、組織内普及のための具体的な取り組みとその成果を御紹介いただいた(参加した情シス部門職員向け)。「導入経緯とコンセプト策定」「職員向け勉強会とマガジン発行」「エバンジェリスト制度の導入」「利用状況の把握と課題対応」について、これまでの御経験を踏まえて御紹介いただいた。</p> <p>(3) 生成AIの行政業務活用事例と実践ノウハウ 要約・メール作成・資料チェック・エクセル関数生成など、生成AIを活用した具体的な行政業務の事例と、効果的な使い方・注意点を実演を交えて御紹介いただいた。「文書要約・タスク抽出」「メール作成・文章校正」「資料チェック・壁打ち活用」「エクセル関数・Copilot活用」「活用上の注意点と限界」について、業務活用事例として紹介いただいた。</p> <p>その他、参加者との質疑応答においても豊富な御知見をもとに、組織での導入方法や個別アドバイスをしていただいた。</p>																					
<p>支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)</p>	<p>研修の実施により、参加した自治体職員が生成AIの基礎知識を習得し、また現在の生成AIの技術潮流について理解した。また、自治体組織で生成AIを普及していく上で有効な取組みについても紹介いただき、業務への組み込みの促進をしていただいた。そのほか、具体的な業務利用例を交えて実際に利用してみるための下地作りをしていただいた。</p> <p>支援により、参加職員が自組織にて生成AIを業務活用するためのきっかけを御提供いただいた。</p>																					
<p>具体的な成果物</p>	<p>最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ⑦その他</p> <p>研修の実施により、参加した自治体職員が生成AIの基礎知識を習得し、また現在の生成AIの技術潮流について理解した。また、自治体組織で生成AIを普及していく上で有効な取組みについても紹介いただき、業務への組み込みの促進をしていただいた。そのほか、具体的な業務利用例を交えて実際に利用してみるための下地作りをしていただいた。</p> <p>総じて、参加職員の生成AI利用を促進する普及啓発(マインドセット)が成果物となるもの。 【支援を受け改善又は解決された内容と同じ】</p>																					
<p>改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)</p>	<p>持ち越し事項等は無し。</p>																					
<p>アンケートの内容と分析結果</p>	<p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。</p> <p>本報告時点では参加者が研修での学びを実践し始める段階にあり、目標達成の計測には各参加者の実務での利活用を行った上でのアンケート集約・分析をすることが望ましいため、現時点でアンケート取得は未実施。研修後1か月程度を目途に1次アンケートを取得し、最終目標達成見込み時期である「令和8年3月」に2次アンケートを取得し分析、報告を行う予定。</p>																					
<p>4-3. 今後の計画</p>	<p>最も当てはまるものをリストより選択下さい ②次年度に予算化を図り推進する</p> <p>派遣にて御対応いただいた研修(第2回、3回派遣)により参加者の生成AI利活用の下地がつくられたものと承知。最終目標達成見込み時期である「令和8年3月」に2次アンケートを取得して効果測定を踏まえて、次年度以降さらにステップアップした普及啓発も実施の検討を行う。</p>																					
<p>4-4. 事業の最終的な目指す姿</p>	<p>本事業における最終目標は、「県内の行政職員において生成AIを行政業務に利用することで業務が効率化・簡略化できることを理解し活用できる下地が形成されること」であり、形成された下地により行政業務の効率化・自動化が図られていき、将来的には住民への持続可能で安定的な行政サービスを提供を目指す。</p>																					
<p>5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>掲載許可 <input type="checkbox"/>○掲載可 https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/</p>																						
<p>なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい</p>																						
<p>6. 地域情報化アドバイザー支援の様子</p> <p>今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG等)」を数枚程度貼り付けて下さい。</p>																						
	<table border="1" data-bbox="1315 2564 1813 2765"> <thead> <tr> <th colspan="3">主な生成AIサービス</th> </tr> <tr> <th>サービス名</th> <th>主なLLM (大規模言語モデル)</th> <th>企業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ChatGPT</td> <td>GPT-5</td> <td>OpenAI</td> </tr> <tr> <td>Copilot</td> <td>GPT-5</td> <td>Microsoft</td> </tr> <tr> <td>Gemini</td> <td>Gemini 2.5 Pro</td> <td>Google</td> </tr> <tr> <td>Claude</td> <td>Claude Sonnet 4.5</td> <td>ANTHROPIC</td> </tr> <tr> <td>Grok</td> <td>Grok-4</td> <td>XL</td> </tr> </tbody> </table> 	主な生成AIサービス			サービス名	主なLLM (大規模言語モデル)	企業	ChatGPT	GPT-5	OpenAI	Copilot	GPT-5	Microsoft	Gemini	Gemini 2.5 Pro	Google	Claude	Claude Sonnet 4.5	ANTHROPIC	Grok	Grok-4	XL
主な生成AIサービス																						
サービス名	主なLLM (大規模言語モデル)	企業																				
ChatGPT	GPT-5	OpenAI																				
Copilot	GPT-5	Microsoft																				
Gemini	Gemini 2.5 Pro	Google																				
Claude	Claude Sonnet 4.5	ANTHROPIC																				
Grok	Grok-4	XL																				